

「社会リスクを低減する 超ビッグデータプラットフォーム」

**2018年度
シンポジウム**
日時 2018年11月21日(水) 13:00~18:00 (開場 12:30)

会場 ベルサール九段/3Fホール (千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3F)

主催 内閣府、国立研究開発法人科学技術振興機構

本プログラムは、現状のビッグデータ処理を遙かに凌ぐ「超ビッグデータプラットフォーム」を構築して、国や地域の公的医療データや家庭での計測データを活用し健康寿命延伸と医療費削減に役立てる「ヘルスセキュリティ」の実現、工場群をネットワーク化したときのサイバー攻撃を防ぎながら生産性と利益向上を支援する「ファクトリセキュリティ」という社会応用を目的として開発を進めています。昨年6月に2017年度シンポジウムを開催し、本プログラムの中間成果についてご報告いたしました。研究開始から3年目の最終年度に入った今、本プログラムの成果についてご報告させていただくとともに、今後の成果展開についてもご紹介させていただきます。

ImPACT プログラム・マネージャー 原田 博司

プログラム		※講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。	
13:00	開会挨拶	原田 博司 (ImPACTプログラム・マネージャー)	
13:05	プログラム全体説明	原田 博司 (ImPACTプログラム・マネージャー)	
13:30	プロジェクト報告		
	① 超ビッグデータ創出ドライバプロジェクト		
	Society5.0を支える超広域多層多段無線通信によるIoTネットワーク基盤	原田 博司 (京都大学大学院 情報学研究所 通信情報システム専攻 教授)	
	② ファクトリセキュリティプロジェクト		
	つながる工場に対するサイバー攻撃の検知・対応技術の開発	米田 健 (三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 情報セキュリティ技術部 部長)	
	つながる工場におけるマスカスタム生産スケジューラの開発	貝原 俊也 (神戸大学大学院 システム情報学研究科 システム科学専攻 教授)	
14:30	休憩		
14:50	③ ヘルスセキュリティプロジェクト		
	心臓病統合ビッグデータの社会実装	永井 良三 (自治医科大学 学長)	
	ICT環境・血圧モニタリングシステムの構築から循環器疾患予見モデルへ	荻尾 七臣 (自治医科大学 医学部 内科学講座循環器内科部門 教授)	
	医療・介護ビッグデータ基盤と分析ツールを利用した地域医療政策の創出	満武 巨裕 (医療経済研究機構 研究部 研究副部長/上席研究員)	
	ビッグデータを用いた医療の可視化と罹患・重症化リスク分析	康永 秀生 (自治医科大学 データサイエンスセンター 特別特命教授 東京大学大学院 医学系研究科 臨床疫学・経済学分野 教授)	
	ビッグデータによる医療・介護需要将来予測とその社会実装	橋本 英樹 (東京大学大学院 医学系研究科 保健社会行動学分野 教授)	
	④ 超ビッグデータ処理エンジンプロジェクト		
	Society5.0を支える超ビッグデータベースエンジン	喜連川 優 (東京大学 生産技術研究所 情報・エレクトロニクス系部門 教授)	
16:30	休憩		
16:50	パネル討論	〈モデレータ〉 〈パネリスト〉	河井 保博 (日経 BP 総研 クリーンテックラボ 所長) 各プロジェクト・リーダー 山田 剛良 (日経ものづくり 編集長) 小谷 卓也 (日経デジタルヘルス 編集長)
17:50	閉会挨拶	原田 博司 (ImPACTプログラム・マネージャー)	


お問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的研究開発推進室

TEL: 03-6380-9012 原田博司プログラム 担当 E-mail: impact-hhr@jst.go.jp

 ホームページ: <http://www.jst.go.jp/impact/program/I6.html>

展示案内

社会リスクを低減する 超ビッグデータプラットフォーム 2018 年度シンポジウム

ImPACT 原田博司プログラム

- ・ 12:30～18:30
(講演時間外は説明員がつきます)
- ・ ベルサール九段 3階
(ロビー、シンポジウム会場後方、ルーム1)



①超ビッグデータ創出ドライバ(Wi-SUN)、ヘルスセキュリティ(ミクロ)

Wi-SUN搭載BLEブリッジ機能付き 小型IoTゲートウェイによるビッグデータ収集
～家庭内から地域内を確実につなぐ無線網～ ローム株式会社、京都大学

血圧変動要因の環境データを収集できるマルチセンサーを搭載した携帯型血圧計
株式会社エー・アンド・デイ

診断・治療をサポートするイベント・リスク監視型リストバンド
株式会社エー・アンド・デイ

医療・環境データをクラウド上で自動解析、日常診療に有用な情報を提供
自治医科大学、株式会社エー・アンド・デイ



②超ビッグデータ創出ドライバ(Wi-RAN)

IoTデータ収集・制御用広域系 マルチホップWi-RANシステム
株式会社日立国際電気、京都大学

<http://www.jst.go.jp/pr/announce/20171018/index.html> (報道発表記事webサイト)



③ファクトリセキュリティ

つながる工場セキュリティ 故障・攻撃検知、隔離・回復技術の紹介
三菱電機株式会社、神戸大学

④超ビッグデータ処理エンジン、ヘルスセキュリティ(マクロ)

クラウドの高次利用を可能とする動的資源伸縮データベースエンジン
東京大学

大規模データの安全・安心な利活用を可能とする超高速インタラクティブデータ加工技術
東京大学、株式会社日立製作所

ビッグデータによる医療・介護需要将来予測シミュレーター：Webによる可視化プログラム
東京大学、スタンフォード大学

個別化医療を指向した多施設からの統合情報システムJ-ImPACTの開発と実装
株式会社プレジジョン、自治医科大学

⑤プロモーションビデオ放映

つながる医療機器と超ビッグデータ利活用による予見先取ヘルスケアの実現
自治医科大学、株式会社エー・アンド・デイ、京都大学、ローム株式会社

<https://www.youtube.com/watch?v=QgNVSUIm2U> (報道発表記事webサイト)

